

■施策評価シート 8-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	市民の健康づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	8-01-①	施策名	市民の健康づくり支援

施策の概要

市民の健康づくりを推進するため、事業者や地域団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康啓発や生活習慣の改善につながる取組を強化するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援します。また、多くの人が、心身の不調に気づき行動できるよう、ゲートキーパーの養成に取り組むとともに、相談支援のネットワークを構築します。

成果指標(単位)	健康寿命(年)【上段:男性、下段:女性】				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	81.78 85.58	81.87 85.63	81.96 85.69	82.05 85.75
実績値	82.58 85.92	未確定			

成果指標実績に対するコメント

令和2年度は、死亡数が男性31人、女性が39人減少し、令和元年度(男性81.69、女性85.52)と比較して、男性は0.89歳、女性は0.4歳健康寿命が延伸している。

施策の達成度評価

「健康くさつ21(第2次)」、「第3次草津市食育推進計画」、「第2次草津市自殺対策行動計画」に基づき、関係団体等と連携した生活習慣改善の取組や、こころの健康づくりの取組により、市民の健康づくりの支援を行った。その結果、若者世代や働く世代への周知、相談支援のネットワークづくりを行うことができた。事業評価を随時行い、子どもの頃から働く世代を主とした啓発活動を工夫していく必要がある。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

コロナ禍における新しい生活様式に則した健康づくりの取組を目指し、引き続き「健康くさつ21」の重点施策「子どもの頃からの健全な生活習慣の確立、働く世代の健康づくり、地域で取り組む健康づくり、企業・団体等多種多様な協働による健康づくりの推進」を目標に事業展開を行い、イベントやSNS等を活用し、広く市民へアプローチしていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域保健活動事業	地域保健課	○	地域の健康課題の解決や健康づくりの活動を行うことができた。
健康づくり推進協議会運営事業	健康増進課	○	健康くさつ21(第2次)中間評価に基づき設定した5つの重点施策ごとに、取組の成果、課題について協議することができた。
健康推進員活動事業	健康増進課	○	健康づくりに関する啓発を各地域で行うことができた。
自殺対策緊急強化事業	健康増進課	○	ゲートキーパーの養成により、市民一人ひとりがこころの健康づくりへの関心を高め互いに支えあうことができる地域づくりをすすめるとともに、相談窓口等での対応のスキルアップや相談支援のネットワークづくりを行った。
食育推進事業	健康増進課	○	第3次草津市食育推進計画に基づき、大型商業施設や市内飲食店と連携した食育推進事業を推進することができた。
健康啓発推進事業	健康増進課	○	市内運動事業所と連携し、運動習慣の定着を推進した結果、事業利用者において、運動の良い意識変化を得ることができた。

■施策評価シート 8-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
かかりつけ医等普及促進事業	健康増進課
湖南広域行政組合負担金事務	健康増進課
さわやか保健センター施設管理事業	健康増進課
保健師活動事業	健康増進課
医療関係団体への保健事業事務委託事務	健康増進課
救急医療情報システム運営負担金事務	健康増進課
健康管理システム事業	健康増進課
健康教育事業	健康増進課
健康相談事業	健康増進課
献血推進事業	健康増進課
市民の健康づくり推進事務	健康増進課
精神保健福祉対策事業	健康増進課
健幸都市づくり推進事業	健康福祉政策課
健康相談事業	地域保健課
健康管理システム事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 8-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	市民の健康づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	8-01-②	施策名	疾病予防対策の強化	

<p>施策の概要</p> <p>疾病の予防と早期発見のため、各種けん診、予防接種について、体制の充実や啓発の強化による受診率等の向上を図るとともに、早期対応の勧奨に努めます。また、感染症に関する正しい理解の普及と予防の啓発に取り組みます。</p>
--

成果指標(単位)	草津市乳がん検診受診率(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (※基準値)		10.4	11.1	11.8	12.5
実績値	9.7	11.2			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>受診者数は、令和2年度1,361人から令和3年度3,095人に増加し、目標値を達成することができた。市独自の無料クーポン券対象者の拡大、協会けんぽ被扶養者および国保加入者の特定健診との同時実施、個別勧奨・再勧奨通知実施により、受診率向上を図ることができたと考えます。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>市独自で無料クーポン券対象者を拡大し、無料クーポン券対象者の受診率は、令和2年度16.6%、令和3年度21.8%と、一定の効果が得られている。更なる受診率の向上につながるよう、個別勧奨・再勧奨通知と啓発の内容を工夫する必要がある。</p>

<p>評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方</p> <p>これまで乳がん検診の受診率は、多少の増減はあるものの、横ばいである。令和2年度の乳がん検診では、がん、がん疑いが初回受診者から発見されている割合が高く、初回受診者の獲得のため、検診の啓発が非常に重要であると考えます。このことより、市民の受診をより促すような無料クーポン券や個別勧奨・再勧奨通知の内容の工夫やイベント、SNSの活用による啓発、また、市民が受診しやすい状況の把握、集団けん診の実施回数の増加等を検討し、事業を進めていく。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
感染症予防事業	新型コロナウイルスワクチン対策室	○	新型コロナウイルスワクチン接種について、接種を希望する市民全員に接種することができたため。
感染症予防事業	健康増進課	○	感染症の注意報や警報が発令された場合は、すみやかに市民等に情報提供し注意喚起を行うことで、正しい理解を促すための周知・啓発ができたため。
予防接種事業	健康増進課	○	子どもの予防接種に関しては、未接種者に対し個別勧奨通知等により、接種率の向上に繋がった。また、すこやか訪問、乳幼児健診時に啓発を行ったため。
健康診査事業	健康増進課	○	各種がん検診・肝炎ウイルス検診・プレ特定健康診査の集団けん診と子宮頸がん・乳がん検診の個別勧奨通知を実施し、胃がん検診以外のがん検診の受診者数が増加したため。
歯科保健指導事業	健康増進課	○	節目・妊婦歯科健診の実施で、口腔の健康づくりと、口腔に関心を持ってもらい、定期的な健診受診を促す啓発ができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
予防接種事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 8-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	8-02-①	施策名	国民健康保険制度の運用

施策の概要

保険財政の適正運営と被保険者負担の上昇の抑制を両立していくため、特定健康診査・特定保健指導の実施等による健康の保持・増進と医療費の適正化を図るとともに、被保険者への啓発活動等、制度への理解促進の取組を強めます。

成果指標(単位)	「医療保険制度の適正運用」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		27.5	30.5	31.5	32.5
実績値	25.3	30.1			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査における「医療保険制度の適正運用」に「満足」「やや満足」と回答された市民の割合は、令和2年度と比べて上昇し、令和3年度の目標値を達成することができた。
令和4年度については、引続き資格管理や給付等の事務を適切に行い、国保事業を適正に運営するとともに、特定健診・特定保健指導の実施率向上に向けた事業を継続して行うことで、医療費の適正化を進めていく。

施策の達成度評価

適用の適正化や保健事業の積極的な実施により、引続き国保財政の健全運営を図る。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

適用の適正化や保健事業の積極的な実施により、引続き国保財政の健全運営を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
特定保健指導事業	健康増進課	○	感染症予防に留意しながら、オンライン面談やイベント型の特定保健指導を実施し、利用者の増加に努めた。
レセプト管理事業	保険年金課	○	医療費適正化のため、レセプトの管理を適正に行い、過誤返戻や本人請求も適切に執行した。
医療費適正化特別対策事業	保険年金課	○	資格管理、適用の適正化により、適切な保険税の賦課および保険給付に努めた。
特定健康診査事業	保険年金課	○	個別健診のほか、被用者保険との連携による集団健診を8回実施し、受診機会の拡充を図るとともに、外部委託による受診勧奨および直営で行う文書や電話での受診勧奨の結果、受診率の上昇につながった。
人間ドック等助成事業	保険年金課	○	被保険者の健康保持増進を目的とする本事業について、助成制度利用の積極的な周知啓発を行った結果、受診者数の増加につながった。

■施策評価シート 8-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
国保事業費納付金事業事務(一般被保険者医療給付費分)	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(一般被保険者後期高齢者支援金等分)	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(介護納付金分)	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(退職被保険者等医療給付費分)	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(退職被保険者等後期高齢者支援金等分)	保険年金課
その他共同事業事務費拠出金事業	保険年金課
特定健康診査・保健指導等推進事業	保険年金課
一般被保険者高額介護合算医療事業	保険年金課
一般被保険者高額療養事業	保険年金課
一般被保険者等療養事業	保険年金課
一般被保険者療養給付事業	保険年金課
国保運営協議会運営事業	保険年金課
国保連合会負担金拠出事務	保険年金課
国民健康保険給付執行事務	保険年金課
出産育児一時金事務	保険年金課
出産育児一時金支払手数料事務	保険年金課
審査支払手数料事務	保険年金課
葬祭給付事業	保険年金課
退職被保険者高額介護合算医療事業	保険年金課
退職被保険者等高額療養事業	保険年金課
退職被保険者等療養事業	保険年金課
退職被保険者等療養給付事業	保険年金課
傷病手当金事務	保険年金課
特定健康診査事業	健康増進課
国民健康保険税賦課事務	税務課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 8-02-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	8-02-②	施策名	後期高齢者医療制度の運用

<p>施策の概要</p> <p>被保険者への制度周知や健康診査等の保健事業による健康の保持・増進と医療費の適正化を図るなど、後期高齢者医療制度を適正に運用します。</p>

成果指標(単位)	後期高齢者医療保険料収納率(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値 (※基準値)	99.64	99.64	99.64	99.64
実績値	99.75	99.73			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>後期高齢者医療(現年分)の収納率は、令和2年度に引き続き、高い値であった。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>電話や臨戸訪問、催告書の送付等による働きかけや納付相談等を積極的に実施することにより、高い収納率を維持することができた。</p>

<p>評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方</p> <p>収納率のさらなる向上を図るため、引き続き、従来の取り組みを進めていく。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
後期高齢者健康診査事業	保険年金課	○	滋賀県後期高齢者医療広域連合より委託を受け対象者に健康診査受診券を送付し、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査事業を進めた。
後期高齢者医療保険料徴収事務	保険年金課	○	電話や臨戸訪問、催告書の送付等による働きかけや納付相談等の実施により、高い収納率を維持することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
後期高齢者医療事務	保険年金課
広域連合医療費負担金事務	保険年金課
広域連合事務負担金事務	保険年金課
広域連合審査手数料負担金事務	保険年金課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 8-02-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	8-02-③	施策名	福祉医療費の助成

施策の概要

社会的に弱い立場の方の医療費負担軽減を図るため、心身障害者、重度心身障害老人等を対象に医療保険適用医療費の自己負担額の一部もしくは全部を助成します。

成果指標(単位)	対象者(心身障害者(児)、重度心身障害老人)1人あたりの年間助成額(千円)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		125	125	125	125
実績値	122	117			

成果指標実績に対するコメント

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による受診件数の減少は緩和したものの、1人当たりの医療費については令和2年度を下回った。

施策の達成度評価

事業内容に特段の変化はなく、令和3年度も令和2年度に引続き、助成対象者の経済的負担の軽減に寄与した。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

引続き制度の周知も含め、適切に助成事業を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
心身障害者福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行った。
重度心身障害者老人等福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行った。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ひとり暮らし寡婦福祉医療助成事業	保険年金課
ひとり暮らし高齢寡婦福祉医療助成事業	保険年金課
心身障害者福祉医療事務	保険年金課
精神障害者精神科通院医療事務	保険年金課
精神障害者精神科通院医療助成事業	保険年金課
精神障害老人精神科通院医療助成事業	保険年金課
老人福祉医療事務	保険年金課
老人福祉医療助成事業	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。